

『^わ環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成 20 年 5 月 12 日	
		作成部署	建設交通部道路管理課	
事業名	一般府道 ^{なごやわた} 長尾八幡線地方道路交付金事業	構想番号	(建・道) 構 20-3	
		地区名	八幡市 ^{やわたいちのつぼ} 八幡一ノ坪～ ^{やわたくぼた} 八幡久保田地内	
概算事業費	約 1.8 億円	事業期間	平成 20 年度 ～ 平成 23 年度	
事業概要	交差点改良 L = 700 m W = 6.0 (12.0) m			
関連する公共事業	なし。			
ガイドライン		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
	主要な評価の視点			
地球環境・自然環境	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化 (CO₂排出量等) 地形・地質 物質循環 (土砂移動) 野生生物 ・絶滅危惧種 生態系 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現道の歩道は狭く、段差が著しく、歩行者や自転車が車道を通行するため、自動車の走行速度が低下し、CO₂排出増加の一因となっていることから、改善を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道拡幅により、交通を円滑化し、CO₂総排出量の削減に寄与する。 	△
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> 水環境・水循環 大気環境 土壌・地盤環境 騒音・振動 廃棄物・リサイクル 化学物質 粉塵 電磁波・電波・日照 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・工事に伴い発生する建設副産物について、リサイクル及び再資源化に努める必要がある。 ・市街化による水循環への影響を軽減する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・建設発生土のリサイクル及びアスファルト、コンクリート殻の再資源化に努める。 ・歩道部での透水性舗装の使用により、水循環の改善に配慮する。 	△
地域個性・文化環境	<ul style="list-style-type: none"> 景観 里山の保全 地域の文化資産 伝統的行祭事 地域住民との協働 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業区域は、準工業地域であるが、西側には名勝の松花堂がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道舗装の構造を周辺の利用形態に合わせるとともに、景観に配慮した整備をする。 	△
地域の環境像	本事業箇所は準工業地域にあるが、八幡市市街地の中心部に入る玄関口であり、また近くに名勝の松花堂があるため、周囲との調和を図り、景観に配慮する必要がある。			
特記事項	なし			

※「環境評価」欄には、評価項目ごとの環境配慮の自己評価を記載する。(改善○、中立△、悪化×)